

(2019-20年度 国際ロータリー・テーマ)



「好文亭」(水戸市)

冬の海釣り

吉原 清寿 (測量技師)

毎年11月に鹿嶋地方の沿岸でヒラメ釣りが解禁になります。大洗以北は12月が解禁となり、茨城県・福島県沖のヒラメは常磐物といわれ高値で取引されています。原発事故以降は敬遠される風潮もありますが、常磐物にこだわる人も多い。この領域のヒラメ釣りは11月から翌年の3月末までと決められています。4月からは産卵時期であるため自然保護の観点から禁漁としている。

数年前友人に誘われて、乗り合い船に乗って初めてヒラメ釣りに出掛け、釣り方も解らず言われるがままに釣り糸を垂らしていた。暫くして竿にぐぐっとした感触を感じ、どきどきしながら夢中でリールを巻き上げると、大きなヒラメが掛かっていました。声にならない声を出してあたりを見回すと、友人が船長さんに声をかけてくれて、大きなタモで掬ってくれました。船の中で暴れるヒラメの口から針をはずすのが大変です。プライヤーを使って慎重に外さないと、鋭い歯を持つヒラメにかまれると血が吹き出るので要注意。暴れるヒラメを桶に入れ、又餌を付けて次を狙います。

餌はイワシの生餌で、親針を口の中から鼻に刺し抜いて、孫針をお尻に刺します。錘は船や気象条件によって変わりますが、60号から80号位が一般的です。普通は船長さんが今日は何号の錘を使って下さいと指示を出すので全員同じ錘を使います。同じ錘を使わないと、糸の垂れ具合が変わってしまう為、隣の人と絡まってしまいます。俗に言う「お祭り」になってしまい解くのが大変です。ルールはきちんと守らないと不愉快な時間が多くなって楽しさ半減になってしまいます。

朝日の出から12時までが釣れる時間です。朝一番は寒さで手がちぎれるほど冷たいですが、それでも終了時間が近づくともう一匹釣りたいという欲が大きくなり、周りを見渡しながら夢中で糸を垂らしています。時間になり、桶に入っているヒラメを絞めて血を抜きクーラーボックスに収納しました。結局この日はビギナーズラックで4匹釣れて大満足の釣りでした。この日以来、毎年この時期にヒラメ釣りに出掛けています。

No. 17 2019・11・5

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mitо-rc.jp/>

水戸ロータリークラブ

■会長 高沢 彰 ■幹事 片岡 宗巖

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

【卓 話】 世界の鮭について

川崎 隆一 会員（食品流通）



かつて30年前、日本は世界一の魚の消費国で、世界の魚をある程度思い通りに安く輸入することが出来ました。鮭などは典型で、日本が買わなければ値段が付かない状況でありました。現在は全く違って来ているのですが、本日は今日の世界の鮭の動向を見ながら、置かれた現状についてお話ししたいと思います。

サケ・マスの生産量としては、養殖物としてノルウェーやチリなどのアトランティックサーモンが236万トン、トラウトが84万トン、銀ザケが18万トン、天然物としてはロシアなどのマスが60万トン、白サケ、日本では秋サケとか時サケと呼ばれます、26万トン、紅サケが18万トンなどとなっています。圧倒的に、世界の生産量の半分以上をアトランティックサーモンが占めている状況です。ヨーロッパやアメリカを訪れてみると、魚をよく食べる地域は別として、殆ど食べない内陸の土地でも、健康志向もありサーモンとエビの加工品は必ず売っているなど消費量はどんどん増えている状況です。もう一方の特徴としては、温暖化、海水温の上昇の影響もあり、ロシアでの漁獲が増えている状況です。日本で高い評価を受ける紅ザケは全体から見るとごく僅かの数量です。余談ですが日本の川に戻って来る紅ザケはいない事をご存じでしょうか。日本の川に戻って来るのは秋サケと呼ばれる白サケ、マスとごく一部の銀ザケで、紅サケが戻るのは、ロシア、アラスカ、カナダの川のみとなります。かつては遠洋漁業、近年まではロシア海域で操業し北海道に水揚げされていたので、北海道産のイメージがあるのでしょうか。

さて、それでは世界的にアトランティックサーモンの生産量、消費量が多い訳はと言いますと、他の養殖サケと比べて性格が荒く、餌を良く食べ、成長が早く、魚体が大きくなる特徴があるからです。例えばトラウトは性格が臆病で、病

気にかかり易く、育てづらくチリなどでは生産量が減って来ています。

又アトランティックサーモンは、身の色は薄いオレンジ色で色を重視する日本では余り高い評価を得ませんが、刺しが入ったように脂が乗る、魚体が大きいのでボリュームが出て欧米では高い評価を受けています。そのため生産量が増えている現状です。

日本の動向についてですが、つい10年ちょっと前まで、秋サケは20万トン以上漁獲されておりました。今年は5万トンになりそうな状況です。秋サケというものは全国的に放流事業をやっておりますので、本来なら予定通り川に戻って来るはずなのですが、海水温が高いとサケは日本に近づく事が出来ず、漁獲が激減している状況です。

又かつてはともに20万トン近い輸入量であった、チリ産の銀ザケ、チリ産のトラウトは、育てやすく利益も取り易いアトランティックサーモンの養殖に生産者が転換し、アトランティックサーモン61万トンに対し、銀ザケ16万トン、トラウト8万トンと生産量の差が広がっている状況です。日本のアトランティックサーモンは回転寿司などで使われますが、輸入量は3万トンに過ぎず、世界の流通量のごく一部であり価格の優位性を打ち出せる状況にありません。日本で人気の紅ザケにしても、アメリカ国内での消費が増え、前ほど入って来ない状況にあります。一切百円が根強いチリの銀ザケは安定的に輸入されていますが、生産の動向、国際的な引き合いによっては不透明となるかもしれません。

明るい話題が少ない中で今後の事を考えてみます。人口の増大、又健康志向もあり、世界のサケを中心とする魚の消費量は増えていくでしょう。養殖量も増えるでしょう。一方で経済状況が大きく変わらない限り、日本が優位に買付けできる状況にはなかなかなりません。従って一つの方法は国内での養殖を増やすという事になります。銀ザケが2万トン、トラウトは微々たる数量ですが、内水での養殖も含めこれから増えていく事が予想され、又期待されています。今一つはイランやトルコ、ペルーのように、比

較的歴史が浅く、輸入が少ない産地の開拓という事も考えられます。但し、現況では日本の品質の基準に合っておらず、熱心な生産指導などが必要となるでしょう。これからも漁獲が期待

できるロシアとの取り組みも考えられるでしょう。いろいろな可能性を追いかながら、水産業界全体で安定供給を追い求めていきたいと思います。

例会報告

11月第1例会

司会 杉本委員

◇ ビジター紹介

秀委員

水戸西RC 野田 弘行 会員

水戸東RC 大河内信弘 会員

◇ 米山功労者感謝状伝達

高沢会長より、齊藤 佳昭会員には（第1回）が手渡されました。後日、秋山 現信会員には米山功労者感謝状（第3回）、黒田 克己会員・山口 晃平会員・山崎晋一郎会員には（第2回）が手渡されます。

◇ 新会員紹介

○山西 裕（薬剤師）S 54.12.20生

YMG株 バンビ薬局 代表取締役社長



山西 裕と申します。高尾先生からご紹介頂いてこの歴史と伝統のある水戸RCに入会させて頂きます。

11年前に水戸駅前で薬局を始めて今は水戸と勝田地域で薬局を運営させて頂いてます。趣味は4年前から始めたトライアスロンをいま頑張ってまして、先日茨城県でありました霞ヶ浦トライアスロンを含め海外のレースにも参加しております。年齢は39歳で来年40歳になるのですが若さとフットワークの軽さを活かして皆様の仲間に入れて頂ければと思います。宜しくお願い致します。

（推薦者 高沢会員、高尾会員）

◇ 会長の時間

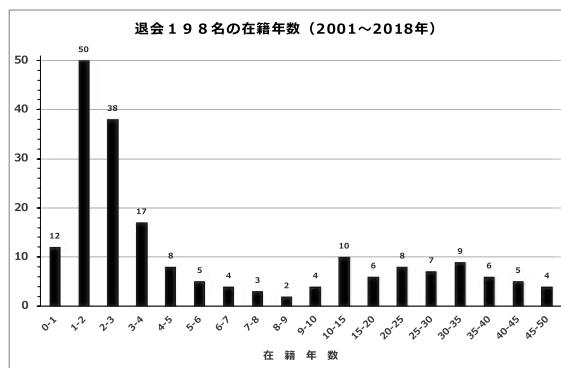
高沢会長

水戸ロータリークラブを知る⑥：会員の動向／退会者の在籍年数

水戸ロータリークラブでは毎年10人程度の入退会の方がおられ、その多くは支店長・支社

長を務められている会員の方となっています。2001年に私が記録を取り始めてから、198名の方が退会されています。その在籍年数をまとめてみました。はっきりと二峰性、つまり二つのピークがあります。大きなピークは在籍年数の短い方々です。つまり、退会者には在籍年数1～3年の方が圧倒的に多く、90名近くになります。あとは、3～5年程度の方と1年未満の方がそれに続きます。退会者の中で、在籍10年以上の方々は55名おられます。在籍の長い方々の多くは、健康上の理由などの退会が多い様です。ちなみに、退会者の平均在籍年数は3.2年、入会時年齢は50.1歳でした。

グラフを週報に掲載致しますので、ご覧になってみて下さい。



◇ 出席報告

渡邊委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
114名	73名	41名	68.22%

前週訂正出席率 80.73%

前々週訂正出席率 77.78%

◇ にこにこBOX

藤田委員長

山西会員……本日入会の山西です。よろしくお

願い致します。

川崎(隆)会員……イニシエーションスピーチを
させて頂きます。

高尾会員……本日入会の山西 裕さんをよろし
くお願ひいたします。

川崎(洋)会員……地区親善野球大会にて見事第
3位を獲得しました。

砂押会員……公式訪問の写真撮影ありがとうございました。

高原会員……弊社大子営業所が台風19号で被
災しましたが、無事に復旧できました。ご心
配をお掛けしました。

香嶋会員……地区親善野球大会で3位になりました。

磯崎会員……台風のダメージからやっと立ち直
りました。

横須賀(靖)会員……ガバナー公式訪問、地区親
善野球大会、いろいろとありがとうございました。

小宅会員……地区親善野球大会、腰痛のため欠
席させて頂きました。申し訳ございません。

宮田会員……ありがとうございます。

内藤会員……妻の誕生日プレゼント大変ありが
とうございました。

寺門会員……家内の誕生祝ありがとうございます。

西会員……妻の誕生日お気遣いありがとうございます。

本日の合計	14件	70,000円
-------	-----	---------

◇ 財団 B O X

内藤 学会員……財団の友献金 (ポリオプラス)

(第5回) \$ 100 10,800円
(累計 \$ 3,600)

荻原 武会員……財団の友献金 (ポリオプラス)

(第3回) \$ 100 10,800円
(累計 \$ 3,300)

磯崎 寛也会員……財団の友献金 (ポリオプラス)

(第3回) \$ 100 10,800円
(累計 \$ 2,300)

香嶋 貴会員……財団の友献金 (ポリオプラス)

(第5回) \$ 100 10,800円
(累計 \$ 1,500)

この計	4件	43,200円
-----	----	---------

◇ 米山 B O X

磯崎 寛也会員……米山功労者献金
(第5回) 10,000円
(累計 350,000円)

この計	1件	10,000円
-----	----	---------

◇ 幹事報告

片岡幹事

1. 次週例会は合同例会です。11月12日(火)の
昼間の例会はございませんので、ご注意くだ
さい。

11月14日(木) 水戸市内 6 R C 合同例会
於 水戸プラザホテル

記念講演 I 「健康の正体」

順天堂大学医学部付属順天堂医院

総合診療科 教授 小林 弘幸 氏

記念講演 II

「茨城県における市民緊急対応の必要性」

— 心肺蘇生とAED —

水戸市医療センター

救急救命センター長 安田 貢 氏

2. 地区国際奉仕セミナーが開催されます。

とき 12月14日(土) 登録 9:30

セミナー 10:00~15:00

ところ 三の丸ホテル TEL 221-3011

出席者 土子仁志国際奉仕委員長



週報担当 香嶋 貴 委員長

例会予告

11月19日 (火)

卓話「ロータリー財団月間に因んで」

地区資金管理委員長・

グローバル補助金担当委員

宇留野秀一 氏 (水戸南R C)

11月26日 (火)

— イニシエーションスピーチ —

卓話「人生100年時代の資産活用術」

石川 真二 会員

12月3日 (火)

— イニシエーションスピーチ —

卓話「私の生き立ちと特殊業務」

武藤 悟司 会員

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……